

科目名		構造力学Ⅰ			
担当教員		羽下 準嗣		実務授業の有無	有
対象学科		建築士学科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築系講義における構造力学の位置づけを理解し、その基礎を学ぶ。			
学習目標 (到達目標)		力の基礎から、構造力学の反力までを学ぶ。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		教科書(やさしい構造力学)、配布プリント			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	構造力学に必要な算術計算			基礎的な構造力学を学ぶにあたり必要な算術計算の復習。	
2	力の基礎			力の向き・大きさなど、力の表現をイラストを見ながら学習。	
3	力のモーメント			ねじる力(モーメント)の考え方・計算方法を学習。	
4	合力			合力(力を足し合わせる)の考え方・計算方法を学習。	
5	分布荷重			分布荷重の考え方、合力の算出方法を学習。	
6	力のつり合い			反力の基礎となる力のつり合い計算の学習。	
7	構造物のささえ方			支持方法によって、発生する反力の変化を学習。	
8	単純梁、片持ち梁、張出梁、ラーメンの反力			例題を利用し、各構造物の反力の算出方法を学習。	
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
評価テスト	期末試験	取組姿勢		前期の力の基礎から反力、後期の応力、さらに2年次へと授業内容は関連しています。1年時の基本がとても重要になります。 仕組みさえ理解してしまえば計算自体はとても簡単です。建築士試験でも出題される分野ですので頑張りましょう。	
40 %	50 %	10 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築設計事務所にて意匠設計に従事。			